



SEMIANNUAL BUSINESS REPORT 2009

第97期 中間株主通信

平成21年1月1日から平成21年6月30日まで

証券コード 4045

東亞合成株式会社

01 株主の皆様へ



代表取締役社長

はしもと ふとし
橋本 太

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当期の経営環境と業績

当第2四半期連結会計期間（平成21年1月1日から平成21年6月30日までの6か月間）におけるわが国経済は、景気の一部に持ち直しの動きが見られましたが、生産活動は依然として低調で本格的な景気回復には程遠く、厳しい事業環境が続きました。

このような状況のもとで当社グループは、あらゆる面からコスト削減を実施し、業務の効率化にも積極的に取り組むなど収益の確保に努めてまいりましたが、需要の低迷による収益の減少を補うには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結会計期間の売上高は649億3千2百万円（前年同期比20.3%減収）、営業利益は27億6千1百万円（前年同期比53.7%減益）、経常利益は29億7千4百万円（前年同期比51.8%減益）、四半期純利益は、当年末に予定している塩素系有機溶剤の製造停止に伴う減損損失を計上したことにより、7億3百万円の損失となりました。

利益配分に関する基本方針

利益配分につきましては、当事業年度の業績、今後の事業展開、業績の進展等を総合的に勘案して、1株当たり年間6円を安定配当の標準とし、株主の皆様へ安定的な利益還元に努めることを基本方針としてまいります。また、内部留保資金につきましては、健全な財務体質を確立・維持することの重要性に留意しつつ、今後予想される競争激化に備えるための研究開発および設備投資の原資として活用してまいります。

当期の中間配当金につきましては、遺憾ながら前年同期に比べ1株当たり1円減配し、3円とさせていただきますと存じます。期末配当金につきましても1株当たり3円を予定しておりますので、1株当たりの年間配当金は前期に比べ2円減配の6円となる予定であります。

通期の見通し

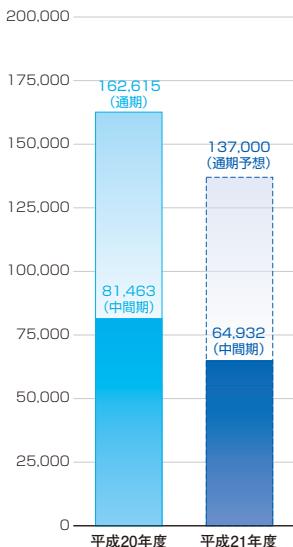
本格的な景気回復には時間がかかると予想されることに加え、原油・ナフサなどをはじめとする原燃料価格の動向も不透明であることから、当社グループを取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況で推移するものと予想されます。

当社グループといたしましては、この厳しい状況を業務改善のチャンスと前向きにとらえ、一層のコスト削減に努めます。さらに、中期経営計画“ALL TOA 2010”で掲げた重点課題「基盤事業の強化」「高付加価値製品へのシフトの加速」「新規事業の創出」に積極的に取り組み、収益力と成長力を向上させてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■平成21年度中間期(連結) (単位:百万円)

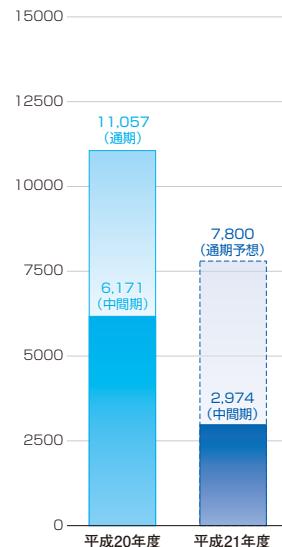
[売上高]



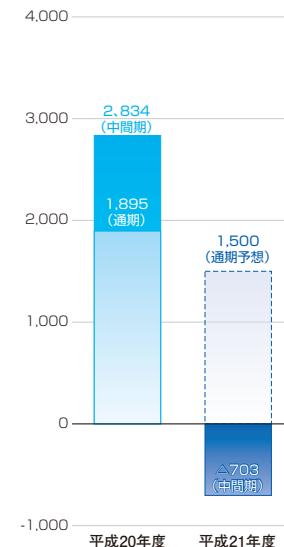
[営業利益]



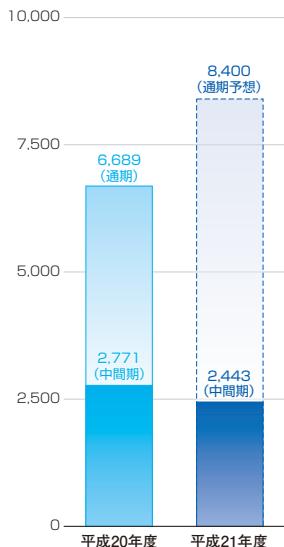
[経常利益]



[当期純利益]



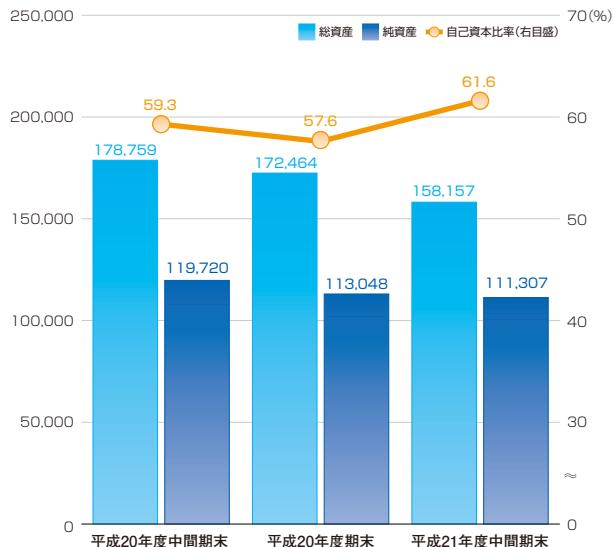
[設備投資額]



[研究開発費]



[総資産・純資産・自己資本比率]



■ 連結売上高セグメント別構成の推移 (単位:%)



■ 連結セグメント別情報 (単位:百万円)

| セグメント | 平成20年度中間期 | | 平成21年度中間期 | | 増 減 | |
|----------|-----------|-------|-----------|-------|---------|--------|
| | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 |
| 基礎化学品 | 26,960 | 2,658 | 21,609 | 960 | △5,351 | △1,698 |
| アクリル製品 | 26,042 | 768 | 18,389 | △63 | △7,653 | △831 |
| 機能製品 | 13,187 | 2,025 | 10,039 | 1,283 | △3,147 | △741 |
| 樹脂加工製品 | 14,502 | 645 | 14,033 | 755 | △469 | 109 |
| その他の事業ほか | 770 | △132 | 860 | △174 | 90 | △41 |
| 合 計 | 81,463 | 5,965 | 64,932 | 2,761 | △16,531 | △3,203 |

基礎化学品事業

Commodity Chemicals

苛性ソーダおよび無機塩化物は、国内需要の減少により出荷が低迷し、減収となりました。

塩素系有機溶剤は、国内需要の減少により大幅な減収となりました。

液化塩化水素および銅製品は、電子材料分野における需要の落ち込みにより、大幅な減収となりました。

工業用ガスは、需要の減少により大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、216億9百万円（前年同期比19.8%減収）、営業利益は9億6千万円（前年同期比63.9%減益）となりました。

アクリル製品事業

Acrylic Products

アクリル酸エステルは、国内需要の減少による出荷低迷と販売価格の下落により、大幅な減収となりました。

アクリル系ポリマー、高分子凝集剤は、国内需要の落ち込みにより大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、183億8千9百万円（前年同期比29.4%減収）、6千3百万円の営業損失となりました。

機能製品事業

Specialty Chemicals

接着剤は、一般用瞬間接着剤は堅調であったものの、主に国内向け工業用接着剤の出荷が低調に推移し、大幅な減収となりました。

光硬化型樹脂「アロニックス」は、4月以降、需要がほぼ回復しましたが、第1四半期の国内・国外における需要減少の影響が大きく、減収となりました。

開発製品は、シリコン系高純度ガスなど電子材料分野向け製品の需要回復が徐々に見られるものの、出荷減少を補うには至らず、大幅な減収となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、100億3千9百万円（前年同期比23.9%減収）、営業利益は12億8千3百万円（前年同期比36.6%減益）となりました。

樹脂加工製品事業

Plastics

介護関連製品などライフサポート部門は堅調に推移しましたが、管工機材製品部門や合成樹脂コンパウンドなどの成形材部門はともに需要の回復が見られず、減収となりました。一方、営業利益は、コスト削減の効果および原料価格が落ち着きを取り戻したことなどにより、改善いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、140億3千3百万円（前年同期比3.2%減収）、営業利益は7億5千5百万円（前年同期比17.0%増益）となりました。

その他の事業

others

新規製品の研究開発事業、設備等の建設および修繕事業、輸送事業などにより構成される当セグメントは、売上高は8億6千万円（前年同期比11.8%増収）、2億7千3百万円の営業損失となりました。

TOPICS
1

「R&D総合センター」新設を決定

当社は、研究開発機能のより一層の充実を図るため、「R&D総合センター」を新設することを決定し、4月21日に発表しました。

「R&D総合センター」は、一般実験棟、本館、クリーンルーム棟からなる延べ床面積約1万平方メートルの研究施設で、2010年完成予定で当社名古屋工場隣接地に建設します。当社グループの将来を担う新技術の創



▲R&D総合センター完成イメージ

出および新規高付加価値製品開発の中心拠点としてまいります。

TOPICS
2

「ファインテック・ジャパン2009」に出展

当社グループは、4月15日から4月17日まで、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「ファインテック・ジャパン2009」に出展しました。

光硬化型樹脂「アロニックス®」の新製品であるハードコートフィルムや粘接着シートなどのフィルム加工製品、グループ会社のアロン化成が開発した高機能熱可塑性エラストマー「エラストマー AR」、同じく鶴見曹達の高純度無機材料など、高機能な製品の数々をご紹介しました。

今回伺ったお客さまのニーズを踏まえ、今後の改良や新規製品の開発につなげてまいります。



▲当社グループのブース

06 四半期連結財務諸表

■四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末 (平成20年12月31日) |
|-----------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 資 産 の 部 | | |
| 流 動 資 産 | 69,107 | 80,856 |
| 現金および預金 | 9,230 | 9,914 |
| 受取手形および売掛金 | 41,060 | 49,058 |
| たな卸資産 | 16,993 | 19,352 |
| 繰延税金資産 | 764 | 663 |
| その他 | 1,189 | 2,009 |
| 貸倒引当金 | △131 | △141 |
| 固 定 資 産 | 89,049 | 91,607 |
| 有 形 固 定 資 産 | 61,982 | 65,186 |
| 建物および構築物(純額) | 19,058 | 19,345 |
| 機械装置および運搬具(純額) | 20,285 | 22,681 |
| 工具器具備品(純額) | 2,596 | 2,868 |
| 土地 | 18,013 | 18,006 |
| リース資産(純額) | 90 | 60 |
| 建設仮勘定 | 1,938 | 2,223 |
| 無 形 固 定 資 産 | 1,829 | 1,915 |
| のれん | 726 | 870 |
| リース資産 | 14 | 16 |
| その他 | 1,088 | 1,028 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | 25,237 | 24,505 |
| 投資有価証券 | 15,000 | 13,434 |
| 長期貸付金 | 65 | 100 |
| 固定化債権 | 8,476 | 9,110 |
| 前払年金費用 | 1,427 | 1,219 |
| 繰延税金資産 | 2,518 | 2,676 |
| その他 | 3,212 | 3,318 |
| 貸倒引当金 | △5,462 | △5,353 |
| 資 産 合 計 | 158,157 | 172,464 |

| | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末 (平成20年12月31日) |
|-----------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 負 債 の 部 | | |
| 流 動 負 債 | 30,790 | 46,676 |
| 支払手形および買掛金 | 15,340 | 20,467 |
| 短期借入金 | 6,409 | 11,550 |
| コマーシャル・ペーパー | — | 6,000 |
| リース債務 | 30 | 20 |
| 未払法人税等 | 824 | 1,106 |
| 繰延税金負債 | — | 1 |
| 賞与引当金 | 556 | 183 |
| その他の引当金 | 8 | 5 |
| その他 | 7,621 | 7,340 |
| 固 定 負 債 | 16,059 | 12,739 |
| 長期借入金 | 10,552 | 7,937 |
| リース債務 | 79 | 60 |
| 繰延税金負債 | 1,214 | 1,167 |
| 退職給付引当金 | 579 | 655 |
| 役員退職慰労引当金 | 112 | 122 |
| その他 | 3,522 | 2,795 |
| 負 債 合 計 | 46,849 | 59,415 |
| 純 資 産 の 部 | | |
| 株 主 資 本 | 95,964 | 98,999 |
| 資本金 | 20,886 | 20,886 |
| 資本剰余金 | 15,085 | 15,085 |
| 利益剰余金 | 62,158 | 63,904 |
| 自己株式 | △2,166 | △877 |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 1,456 | 272 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,046 | 1,047 |
| 繰延ヘッジ損益 | 0 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △590 | △775 |
| 少 数 株 主 持 分 | 13,886 | 13,776 |
| 純 資 産 合 計 | 111,307 | 113,048 |
| 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 158,157 | 172,464 |

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) | 前第2四半期 連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 64,932 | 81,463 |
| 売上原価 | 48,478 | 60,293 |
| 売上総利益 | 16,453 | 21,170 |
| 販売費および一般管理費 | 13,692 | 15,204 |
| 営業利益 | 2,761 | 5,965 |
| 営業外収益 | 722 | 833 |
| 受取利息 | 72 | 95 |
| 受取配当金 | 186 | 238 |
| 持分法による投資利益 | 181 | 186 |
| その他 | 281 | 312 |
| 営業外費用 | 509 | 627 |
| 支払利息 | 149 | 162 |
| 遊休設備費 | 152 | 78 |
| その他 | 208 | 385 |
| 経常利益 | 2,974 | 6,171 |
| 特別利益 | 61 | 71 |
| 投資有価証券売却益 | — | 22 |
| 貸倒引当金戻入額 | 55 | 48 |
| その他 | 5 | 0 |
| 特別損失 | 2,701 | 671 |
| 固定資産処分損 | 65 | 193 |
| 貸倒引当金繰入額 | 203 | 346 |
| 投資有価証券評価損 | — | 13 |
| 減損損失 | 2,431 | 107 |
| 出資金評価損 | — | 10 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 334 | 5,571 |
| 法人税等 | 692 | 2,361 |
| 少数株主利益 | 345 | 375 |
| 四半期純利益(△損失) | △703 | 2,834 |

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 当第2四半期 連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) | 前第2四半期 連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,299 | 8,375 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,166 | △4,381 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △11,166 | △5,436 |
| 現金および現金同等物に係る換算差額 | 73 | △64 |
| 現金および現金同等物の増減額 | △959 | △1,506 |
| 現金および現金同等物の期首残高 | 9,826 | 9,710 |
| 現金および現金同等物の中間期末残高 | 8,866 | 8,203 |

平成21年6月30日現在

| | | | |
|---------|-------------------------------|--|--|
| 設立 | 昭和17年3月31日 | | |
| 資本金 | 20,886百万円 | | |
| 従業員数 | 連結2,611名 単独890名(平成21年6月30日現在) | | |
| 事業所 | 本店 | 東京都港区西新橋一丁目14番1号(〒105-8419) 電話 東京(03)3597-7215(代表) | |
| | 大阪支店 | 大阪市北区中之島三丁目3番3号 中之島三井ビル11階(〒530-0005) | |
| | 名古屋支店 | 名古屋市中区錦一丁目4番6号 三井生命名古屋ビル6階(〒460-0003) | |
| | 北陸営業所 | 高岡市二上院内500番地(〒933-0981) | |
| | 四国営業所 | 坂出市昭和町二丁目4番1号 坂出工場内(〒762-0004) | |
| | 福岡営業所 | 福岡市中央区天神二丁目14番2号 福岡証券ビル4階(〒810-0001) | |
| | 名古屋工場 | 名古屋市港区昭和町17番地の23(〒455-0026) | |
| | 徳島工場 | 徳島市川内町中島575番地の1(〒771-0188) | |
| | 高岡工場 | 高岡市伏木二丁目1番3号(〒933-0195) | |
| | 坂出工場 | 坂出市昭和町二丁目4番1号(〒762-0004) | |
| 名古屋研究機構 | 名古屋市港区船見町1番地の1(〒455-0027) | | |
| 先端科学研究所 | つくば市大久保2番(〒300-2611) | | |

■取締役および監査役

| | | | | |
|---------|---|---|---|----|
| 代表取締役会長 | 山 | 寺 | 炳 | 彦 |
| 代表取締役社長 | 橋 | 本 | 太 | |
| 取締役相談役 | 福 | 澤 | 文 | 士郎 |
| 取締役 | 有 | 澤 | 章 | 夫 |
| 取締役 | 山 | 田 | 勝 | 敏 |
| 取締役 | 宮 | 崎 | 清 | |
| 取締役 | 河 | 村 | 章 | 司 |
| 取締役 | 清 | 田 | 一 | 夫 |
| 取締役 | 野 | 村 | 聡 | 一 |
| 取締役(社外) | 日 | 比 | 重 | 久 |
| 監査役(常勤) | 滝 | | 寛 | 男 |
| 監査役(社外) | 佐 | 藤 | 勝 | 宏 |
| 監査役(社外) | 花 | 田 | 文 | 宏 |
| 監査役(社外) | 幡 | 谷 | 宣 | 男 |
| 監査役(社外) | 滝 | 澤 | 英 | |

■東亜合成グループの主な製品、事業内容および主な関係会社

| セグメント別 | 製品 | 主な関係会社 | |
|---------------|---|---|---|
| 化学 品 事業 | 基礎化学品事業 | 苛性ソーダ、苛性カリおよび次亜塩素酸ソーダ・過塩化鉄液・液体塩素・塩酸などの無機塩化物、硫酸などの農業関連製品、硫酸、塩素系有機溶剤、窒素・アルゴンなどの工業ガス、特殊ガス等 | 鶴見曹達(株)、東亜テクノガス(株)、東亜合成KOREA(株) |
| | アクリル製品事業 | アクリル酸、アクリル酸エステル、アクリル系ポリマー・高分子凝集剤などのアクリル系各種重合品、粉体塗料、建築・土木製品等 | 大分ケミカル(株)、日本純薬(株)、トウアゴウセイ・シンガポール・ピーティーイー・リミテッド、東亜建装(株)、MTアクアポリマー(株) |
| | 機能製品事業 | 光硬化型樹脂、銀系無機抗菌剤・無機系消臭剤・無機イオン交換体・エレクトロニクス材料などの各種開発製品、一般用・工業用各種接着剤等 | 台湾東亜合成股份有限公司、東昌化学股份有限公司、張家港東亞迪愛生化学有限公司、トウアゴウセイ・アメリカ・インク、東亜合成香港有限公司、東亜合成(珠海)有限公司、アロンエバークリップ・リミテッド、アロン包装(株)、エルマーズ・アンド・トウアゴウセイ・カンパニー |
| | 樹脂加工製品事業 | 下水道関連管工機材製品、電力・通信関連管工機材製品、介護関連および環境保全関連などの生活用品関連製品 | アロン化成(株)、ミクニプラスチック(株) |
| その他の事業 | 東亜合成グループの商事部門、設備機器などの設計・施工・管理・修繕事業、エンジニアリング事業、ビル・駐車場等仲介・管理事業、輸送関連事業、事務業務代行等 | (株)TGコーポレーション、TOAエンジニアリング(株)、東亜ビジネスアソシエ(株)、東亜興業(株)、東亜物流(株)、北陸東亜物流(株)、四国東亜物流(株) | |

平成21年6月30日現在

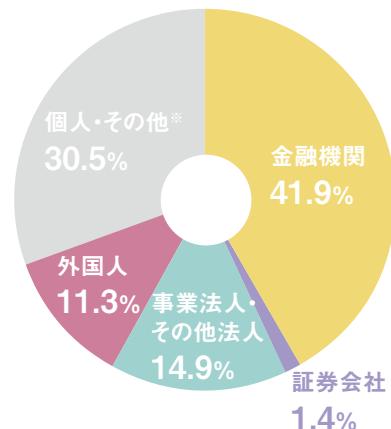
| | |
|-----------|--------------|
| ■発行可能株式総数 | 550,000,000株 |
| ■発行済株式総数 | 263,992,598株 |
| ■株主数 | 25,535名 |

■大株主の状況

| 株主名 | 株数(千株) | 出資比率(%) |
|-----------------------------|--------|---------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 18,723 | 7.34 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) | 15,795 | 6.19 |
| 株式会社三井住友銀行 | 11,636 | 4.56 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 10,420 | 4.09 |
| 東亜合成取引先持株会 | 6,360 | 2.49 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 5,648 | 2.21 |
| 東亜合成グループ社員持株会 | 5,568 | 2.18 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 5,300 | 2.08 |
| あいおい損害保険株式会社 | 5,000 | 1.96 |
| 農林中央金庫 | 3,944 | 1.55 |

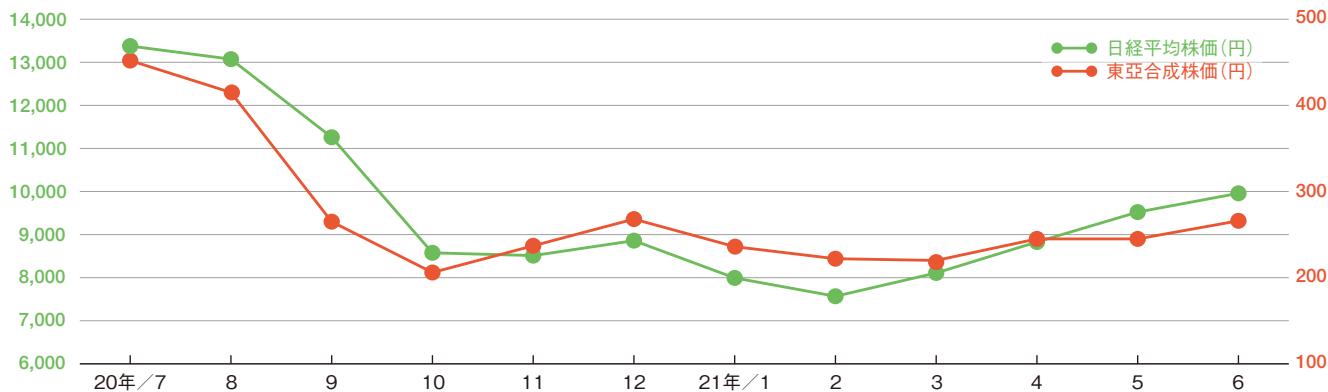
当社は、自己株式8,932,932株を保有しておりますが、上記大株主の状況からは除いております。
また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

■株式所有者別分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

■当社株価および日経平均株価推移 平成20年7月1日～平成21年6月30日



※ 株価は、東京証券取引所における毎月の最終株価の推移です。

- 事業年度…………… 毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年3月に開催
- 基準日…………… 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法…………… 電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人…………… 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 郵便物送付先…………… 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-78-2031** (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社の電話およびインターネットで24時間お受けしております。

- 手続用紙受付専用フリーダイヤル(自動音声) 0120-87-2031
- ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

- ・口座振替申請書
- ・単元未満株式買取請求書
- ・配当金振込指定書(特別口座用)
- ・変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について、株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金領収証にてお受取りの株主様は、年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は、配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

なお、両書類は確定申告を行う際に、添付資料としてご使用いただくことができます。



〒105-8419 東京都港区西新橋一丁目14番1号
TEL.03(3597)7215 FAX.03(3597)7217
URL.<http://www.toagosei.co.jp/>